

「自動車整備士」は社会に貢献しています!!

～自動車の安全・安心を守っています～

01 自動車整備士の仕事は安定的です!



一般財団法人自動車検査登録情報協会の統計データによると、平成30年1月末の時点で全国の自動車保有台数は8,200万台



国土交通省、軽自動車検査協会の統計データによると、継続検査(車検)台数は景気に影響されにくい。

自動車は点検整備や車検を定期的に行う必要があります。このため、自動車が走っている限り自動車整備士の仕事は安定的です。

02 自動車の進化に合わせて整備も変化しています。



先進的な
整備環境へ...

スキャンツールによる
整備の高度化



整備作業環境の充実

働きやすい
整備環境へ...

自動ブレーキ (衝突被害軽減ブレーキ)

前方の車両との衝突を予測して、自動でブレーキを作動することにより衝突時の被害を軽減する装置



ペダル踏み間違い時加速抑制装置

駐車場など不適切な場所で、アクセルの強い踏込を検知した場合に加速を自動で抑制する装置

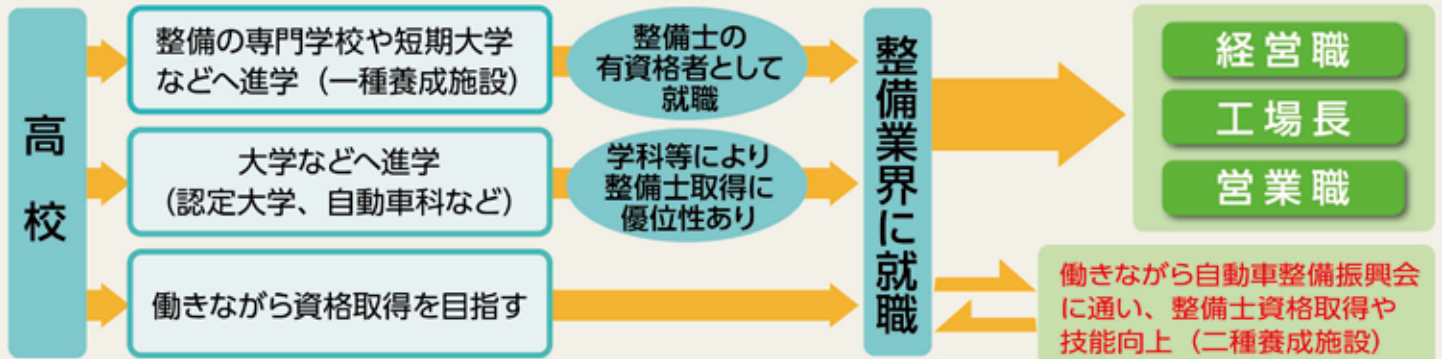


自動車整備の現場である整備工場は、自動車の状態を電子機器(外部診断器:スキャンツール)で診断するなど高度化が進み、先進機器の導入や効率的な配置などにより先進的な整備環境へと変化しています。

03 自動車整備資格は国家資格です。

自動車整備士になるためには、一定の実務経験後や自動車整備士の養成学校・施設修了後に、国が行う自動車整備士技能検定の学科及び実技試験に合格する必要があります。また、**自動車の分解整備を行う認証工場や指定工場（民間車検場）には、自動車整備士の有資格者が必要です。**

自動車整備士を目指すには？



専門学校や短期大学などの養成学校に、一定の期間（例えば、二級自動車整備士の場合は2年）通学し、必要な知識と技術を習得する方法と、整備工場に就職後に働きながら一定の期間（例えば、二級自動車整備士の場合は4年）の実務を経験しながら、自ら勉強したり、養成施設に通いながら必要な知識と技術を習得する方法の2通りがあります。

《自動車整備士養成学校・施設》

http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk9_000004.html



《各種奨学金》

<http://jidoushaseibishi.jp/seido.html>



自動車整備士の種類

働きながら目指す場合は、**ここからチャレンジ!!**

専門学校や短期大学など養成学校に通学し
目指す場合は、**ここからチャレンジ!!**

更なる高みへチャレンジ!!

三級自動車整備士 特種整備士

三級自動車整備士は、各装置の基本的な整備ができる知識と技能を持っています。
特種整備士は、車体、電気装置、タイヤの各分野において、専門的な知識と技能を持っています。

二級自動車整備士

自動車の一般的な整備ができる知識と技能を持っています。

自動車検査員、整備主任者を
目指す場合は必要

一級自動車整備士

自動車整備士の最高位
「クルマの専門医」

新技術に対応した故障診断・整備ができ、不具合原因を推定できる知識・技能を持っています。

04 各種イベント

全国でオープンキャンパス、職場体験、インターンシップ、体験イベントなど開催中!!
皆様のご参加、お待ちしております。

<http://jidoushaseibishi.jp/event.html>

